

# 授業デザイン FIRST STEP Vol.6 —小学校図画工作科「片付け」編—



## 1 片付けも学びの一つ！

活動に時間を割いてしまい、片付けが授業の中で終わらないということはありませんか？  
教師も児童も「片付けも学びの一つ」という意識をもち、授業の中で片付けまで終わるようにすることが大切です。また、児童の片付ける意識を高めるための工夫をしましょう。



## 2 片付けが授業の中で終わるためのポイント

### (1) 時間と手順を板書する

授業の始まりの際、全員が片付けまでの見通しをもつことができるようにしましょう。活動内容によって片付けに要する時間は変わるので、「どれくらいの時間が必要か。」を児童と一緒に考えて設定し、板書することで、共通理解を図ります。また効率や児童の動きなどを考えて、片付けの手順を決めておきましょう。手順を板書し、具体的に教師が実際に示しながら、その意味について説明することで、児童は考えながら、片付けに取り組むことができるようになります。

### (2) 全員で取り組む

全員で片付けに取り組むためには、全員が設定した時刻までに制作を終えなければいけません。そのために、作品の保管場所を確保し、まずは児童が作品を保管場所に置くようにします。その上で、教室を元の状態に戻すように伝えることで、児童はすべきことを見だして片付けに取り組むようになります。

### (3) よりよい片付けの方法を考える

時間内に片付けが終わらない場合には、「短時間で終わるための方法はないか。」と問い掛け、児童が課題意識をもつようにします。全体で話し合ったり教師が助言をしたりしながら、よりよい片付けの方法を児童が考え、実践できるようにしましょう。児童自身が、時間を短縮することを実感できれば、その方法で片付けることが身に付いていきます。

## 3 児童の片付ける意識を高めるためのポイント

### (1) 番号を付ける

共用の用具には、番号を付けます。番号を付けることで、返却の忘れを防ぐことができ、全て返却されているかどうかを、教師だけでなく児童も確認することができます。

### (2) 材料や用具を片付ける場所を決める

共用の材料は、箱などを用意して、種類ごとに分ける指導をします。また、片付けるものの大きさや色など、具体的な指示を提示することで、児童はより丁寧に片付けに取り組むことができるようになります。

### (3) 捨てるものを減らす

使い終わった材料の中に、まだ使えそうなものがあれば捨てずに、指示した場所へ集める指導をします。事前に箱などを準備し、児童が進んで片付けに取り組むことができるようにしましょう。継続して指導することで、児童がごみを減らしたり、材料を大切に使用したりする意識を高めていくことができます。